

無断複写・転載禁止

AIが経営の右腕に

- AIネイティブERPが拓く、
次世代の経営意思決定と競争力強化

SCSK株式会社
PROACTIVE事業本部

SCSK

Copyright © SCSK Corporation

①情報の正確性等について:

本資料は、情報提供のみを目的としており、正確性、完全性、または最新性についていかなる保証もいたしません。SCSK株式会社及び関連会社(以下、総称して「当社」)は、情報の誤り、欠落、及び本資料に含まれる情報(文書、デザイン、レイアウト、ロゴマーク、キャラクター、商標等を含み、以下総称して「掲載情報」といいます)に依拠したことによって生じるいかなる損害についても、一切の責任を負わないものとします。

②予告のない変更について:

本資料の内容は予告なく変更される場合があります、また、当社が本資料を更新する義務を負うものではありません。記載されている将来予測や見解は、本資料作成時点のものであり、実際の結果と大きく異なる場合があります。

③知的財産権について:

掲載情報について、当社に無断で転載、複製、販売、貸与等の利用をなされないようお願いいたします。

また、掲載情報の著作権等の知的財産権、使用权、その他の権利は、当社または当社に掲載情報の利用を認めた権利者に帰属しておりますので、お客様におかれましては、これらの権利を侵害しない範囲で本資料をご利用いただきますようお願いいたします。

本Webサイトに掲載されている当社の製品・サービス名、ロゴマークなどは当社の商標または登録商標です。その他の会社名・製品・サービス名、ロゴマークなどは該当する各社の商号・商標または登録商標です。なお、各ページにおいて個別に商標表示がある場合には、当該情報が優先されます。

以上

- ・会社紹介
- ・社会環境の激変
- ・データドリブン経営の壁
- ・AIがもたらす変化
- ・PROACTIVE AIが提供する新たな世界

会社紹介

SCSKグループの 人的資本力の向上をもって、 お客様やパートナー、 社会との共創を推進し、 各種課題に対し、 価値提供し続ける企業グループへ

私たちSCSKグループは、50年以上にわたり、ビジネスに必要なITサービスからBPOに至るまで、フルラインアップで提供し、8,000社以上のお客様のさまざまな課題を解決してきました。そして、次の飛躍に向けて、ITを軸としたお客様やパートナー、社会との共創による、さまざまな業種・業界や社会の課題解決に向けた新たな挑戦に取り組んでいます。





SCSKグループ技術戦略 技術ビジョン2030

SCSKグループは、人々がより豊かで満たされた生活を送ることができる夢ある未来の実現に向けて、安心かつ革新的なAI技術の開発と、その普及に努めていきます。

AIと創る 夢ある未来 →

STATEMENT

AIの進化と 未来に向けた 取り組み

生成AIの登場により、AI技術は急速に進化し、ツールからパートナーへと役割を変えつつあります。

今後、AIは私たちの生活やビジネスのいたるところに浸透し、さまざまな場面で重要な役割を果たしていきます。

また、AIは人口減少や労働力不足といった社会課題への対応にも大きく貢献します。

一方、AI利用には倫理やプライバシーの課題もあり、慎重な対応が必要です。

SCSKグループは、人々がより豊かで満たされた生活を送ることができる夢ある未来の実現に向けて、安心かつ革新的なAI技術の開発と、その普及に努めていきます。

ビジネスを動かす一歩を、共に創る。



Mission

ビジネスを動かす一歩を、共に創る。

未来への道は時に不確実で、暗闇の中に隠れた可能性や課題に溢れています。そのような状況下でも、それぞれが描くビジョンを達成するために、次の一歩を踏み出さなければなりません。

私たちは、その進むべき一歩先を示し、確信と勇気を持って前に進むことを支えるプロフェッショナルパートナーです。

それぞれの一歩が前向きな意志を育み、ビジネスを成長させていけるように。生み出された価値が社会全体へと広がり、夢ある未来を築く力となるように。

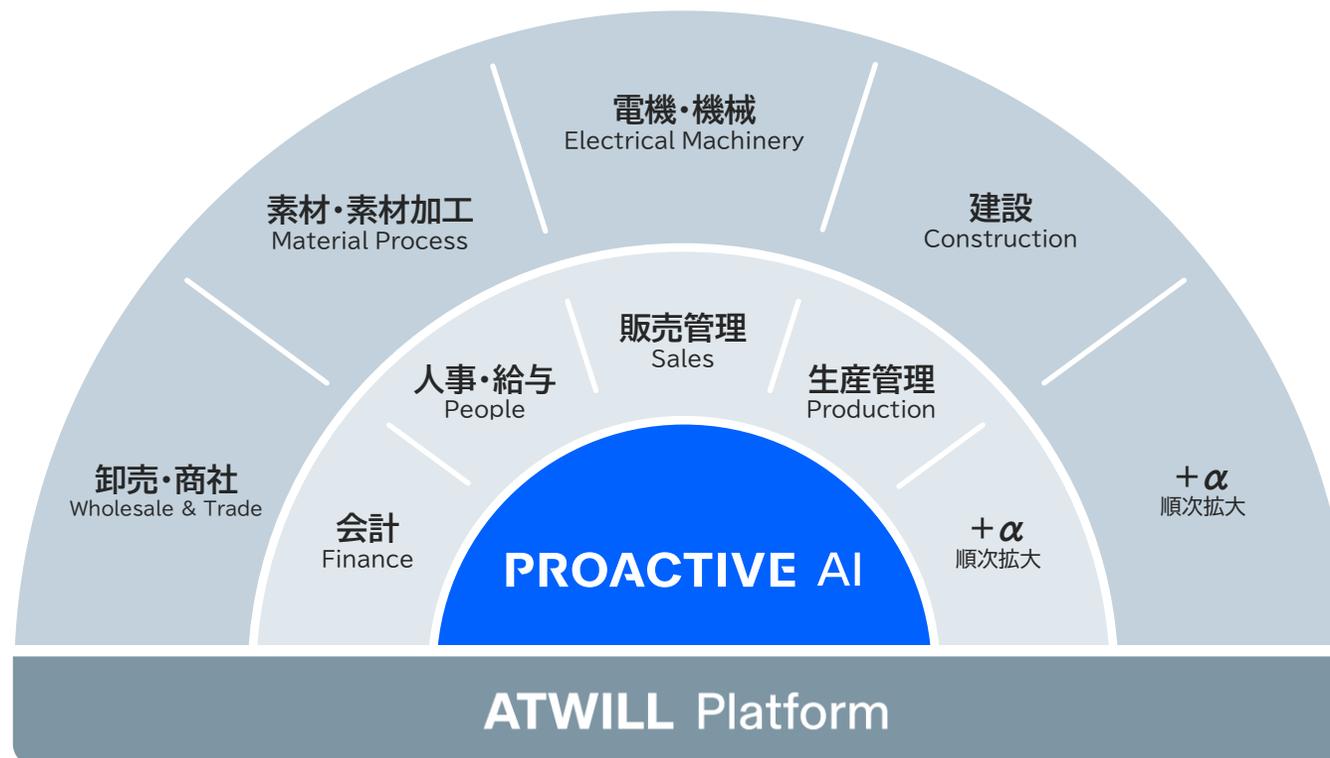
PROACTIVEは、データとテクノロジーを駆使して、経営資源を最大限に活かした意思決定を後押しすることで、ビジネスを動かす一歩を、共に創ります。



新しいPROACTIVEが目指す姿

SCSKは、「ProActive C4」、「atWill」、「PImacs」という3つの自社開発知財を活用し、卸売商社業、製造業、建設業、サービス業のお客様を中心に、会計・人事給与・販売管理・生産管理などの業務機能を導入してきました。

デジタルオフリングサービス『PROACTIVE』は、これら3つの既存業務機能に加えて、業務ノウハウやAI技術、さまざまな知財を組み合わせることで、「業務効率化・自動化」や「高度な経営判断」を実現します。



社会環境の激変

企業を取り巻く環境は大きく変化しており、複雑化・不安定化 結果、経営の難易度は一段と向上



出典: 経済産業省「令和2年度 内外一体の経済成長戦略構築にかかる国際経済調査事業 (ボストンコンサルティンググループ分析)」に基づき弊社作成

近年のVUCAを表す主な出来事

: グローバル : 日本



2019年~2020年 コロナパンデミック

- ◆ 中国で第1例目の感染者が報告されてから、瞬く間に全世界に拡大



2020年~2024年 インバウンド観光 激減と急回復

- ◆ 2020年から2021年にかけて訪日外国人は激減
- ◆ その後、急激に回復し2024年には過去最高を記録



2022年~ 世界的インフレと 金融引き締め

- ◆ コロナ後の金融緩和や供給混乱、その後の経済V字回復等に起因しインフレが加速
- ◆ インフレ抑制のために各国で金融引き締め



2022年~ 生成AIブーム

- ◆ 22年11月のOpenAIによるChatGPT公開を機に生成AIが急速に企業・個人に浸透

2019

2020

2021

2022

2023

2024

2025



2020~2021年 コロナに端を発した サプライチェーンの 混乱と物流危機

- ◆ 半導体の深刻な不足から自動車の供給が大幅減
- ◆ 海上物流にも混乱を来たし輸送費も高騰



2022年 ロシアによる ウクライナ侵攻

- ◆ 各国のロシアに対する経済制裁や、それらに起因する金融・商品市況の動揺
- ◆ 各社でのロシア関連ビジネスの見直し



2022年~ 急激な円安と 輸入コスト高騰

- ◆ 2022年に1ドル=150円台まで円安が進行(約30年ぶりの水準)
- ◆ エネルギーを中心に輸入コストが高騰



2025年 第2次トランプ政権 発足と各種政策による 政治・経済の混乱

- ◆ 25年1月に第2次トランプ政権発足
- ◆ 外交や関税に代表される経済政策により市場は不安定化

データドリブン経営の壁



経営者Aさん

BIやダッシュボードといったもので可視化すればよいのは分かっているが、結局どのデータを使って、どのように可視化すれば、ビジネスの変化を捉えることができるのか？

ツールがあっても結局データから分析ができるデータアナリストがいなければ宝の持ち腐れじゃないのか？

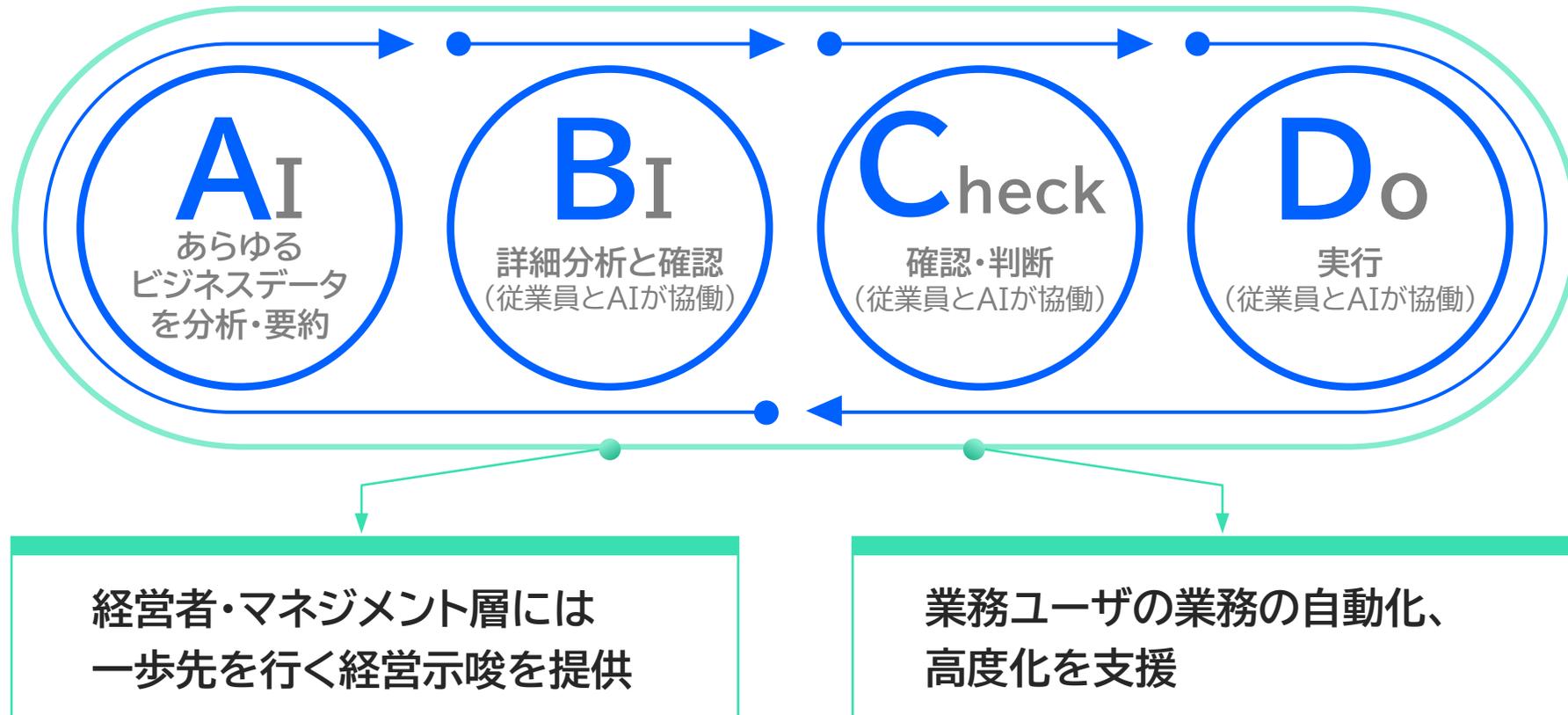
当社も、ダッシュボードとBIにて、データを見れるようにはしているが結局予算に達成しているのか？昨年対比でどうなのか？程度の内容しか読み取れない。

何故ダウントレンドになっているのか？それを追うには顧客別や地域別、商品別等様々な観点を、これまでの経験や勘あたりを付け、追加の資料を担当者に依頼しなければならない。依頼してもすぐにはデータが出てこず…。



経営者Bさん

これまで人が中心となって回してきたPDCAサイクルは、AIと共に行うABCDサイクルへと変化。
経営と業務が繋がり、それらが一貫して連動していることがKSF(Key Success Factors)となる。



共に創る豊かな未来。

AIをパートナーに

個人に寄り添うAIパートナー

- パーソナライズされたダッシュボード
- 関連情報の自動レコメンド
- スキル評価・キャリアパス提案

AI活用の浸透

積極的にAI利用を促進していく

- データ入力、分析、レポート作成を自動化
- AIによる業務効率化で、コスト削減、生産性向上

STEP
03

STEP
01

STEP
02

AIと働く、 新しいワークスタイル

従業員の代わりにAIが業務を遂行

- AIがルーティンワークを代行
- 24時間365日稼働するAIで、業務効率を最大化

PROACTIVE AIが提供する新たな世界

経営

高度な経営判断

従来は難しかった高度な意思決定を支援

- ◆ ヒト・モノ・カネの可視化
- ◆ 業績/需要の高精度での予測
- ◆ 業績改善余地の自動提案

現場

効率化・自動化

現場のあらゆる業務を効率化

- ◆ 入力業務の自動化・効率化
- ◆ 情報収集の自動化・効率化
- ◆ ドキュメント作成の自動化・効率化

PROACTIVE AI × Looker × Gemini



AIダッシュボード
(PROACTIVEアナリスト)

PROACTIVE AI × SCSK-AI技術力



AI分析プラットフォーム
(PROACTIVE データサイエンティスト)

PROACTIVE AI × Microsoft 365



業務サポートAI
(PROACTIVEコンシェルジュ)

PROACTIVE

アナリスト

THIS MORNING !

A 商事の経営者 A さん

朝8時にはオフィスに出社し前日の実績を確認します。
前日までの売上レポートが担当者からメールで送られてきているのでメールを確認し今月の売上進捗を確認します。
昨年同月との対比を見ても10%+で進捗しており順調そうです。
「よしよし…今期は予算達成は問題なさそうだな」と一安心。
朝のルーチンのコーヒーを一口すするのでした。



THE NIGHT BEFORE...



A 商事の経営企画部の X さん

毎朝社長へ報告する実績の報告レポートを作成しています。
今日は来月予定している社外イベントの作業もあり、
いつもより報告資料の作成が遅くなってしまいました。
また、普段と少し傾向の異なるデータがあった為、
とりまとめにいつもよりも時間がかかってしまいました。
データの中身が気になりましたが、確認していると
終電には間に合いません。とにかくメールだけ送ってしまおう...

経営

高度な経営判断

従来は難しかった高度な意思決定を支援

- ◆ ヒト・モノ・カネの可視化
- ◆ 業績/需要の高精度での予測
- ◆ 業績改善余地の自動提案

現場

効率化・自動化

現場のあらゆる業務を効率化

- ◆ 入力業務の自動化・効率化
- ◆ 情報収集の自動化・効率化
- ◆ ドキュメント作成の自動化・効率化

PROACTIVE AI × Looker × Gemini



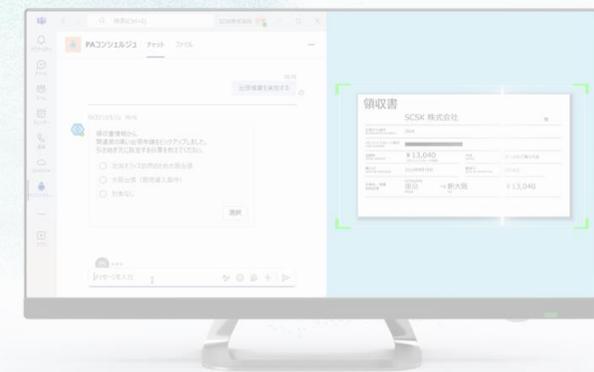
AIダッシュボード
(PROACTIVEアナリスト)

PROACTIVE AI × SCSK-AI技術力



AI分析プラットフォーム
(PROACTIVE データサイエンティスト)
技術戦略本部 共同開発

PROACTIVE AI ×



業務サポートAI
(PROACTIVEコンシェルジュ)



PROACTIVE



見える → 気づく へ変化

生成AIにドメイン知識を獲得させる

生成AIは汎用的な知識に基づき回答を生成しているため、ハルシネーションの低減や回答のコントロールが必要不可欠。

ドメイン(業界・業務)知識 を与えコントロール。具体的に与える必要があるものは以下の通り。

1. データ定義 → LookML

分析に必要な情報、各種情報間の関係性などデータの定義

2. KPI、集計定義 → BIダッシュボード

想定されるKPIとそれを集計する場合のロジック概要

3. 分析観点 → BIダッシュボード

優先すべきKPIや分析に必要なKPIセット



4. 業務内容 → チャット機能(インコンテキストラーニングも活用)

分析結果の活用ポイントを見定めるための業務内容



PROACTIVE AI ① PROACTIVE アナリスト



生成AIにてダッシュボードの内容に対するレポート (サマリ・トピックス・アクション) を作成・表示

ダッシュボードを表示

この**PROACTIVE AI**がA商事に導入されていたら
あの日、A商事はどのように変化していたでしょうか？



THIS MORNING !

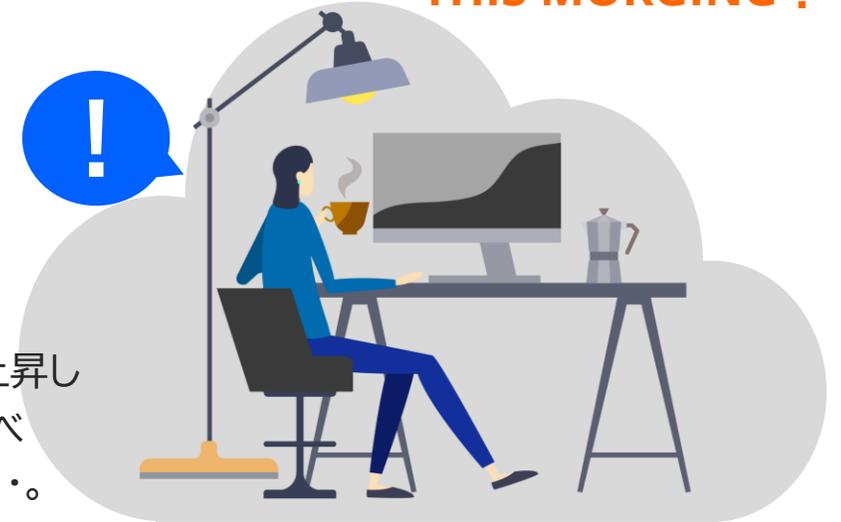
A商事の経営者のAさん

朝8時に出社。前の晩に経営企画のメンバーより少し気になる連絡を貰っていたので、早速**PROACTIVE AIアナリスト**を起動します。

まずはダッシュボード上に昨日までの実績が可視化されました。

数字的には順調に見えるが…。

AIアナリストのレポートを読むとどうやらこれまで取引が無い商品の売上げが急上昇し全体の売上を押し上げて、一方で安定成長とみていた商品については例月の動きと比べ1割ほどダウントレンドとなっているようです。そこに丁度当該部署の部長より内線が…。



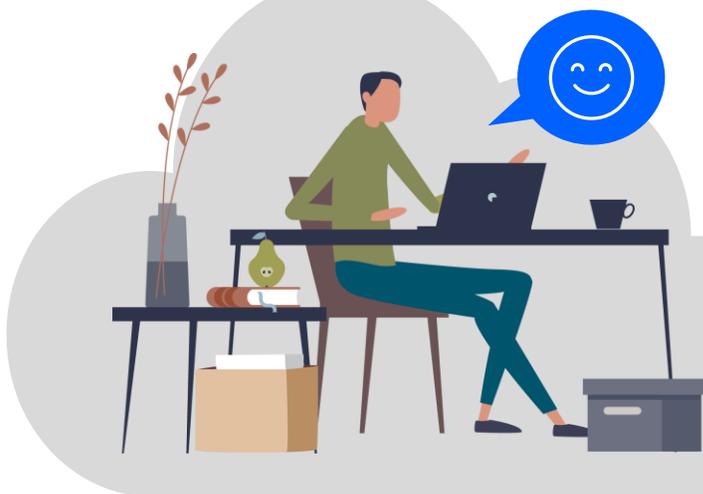
THE NIGHT BEFORE...

A商事の経営企画部のXさん

A商事の経営企画部のXさん。今日は来月予定している社外イベントの作業もあり、いつもより遅くなってしまいました。帰る前のルーチンとして**PROACTIVE AIアナリスト**を起動します。いつもと異なる商品で大きな動きがあったようです。

おそらく朝一で社長が確認されるだろうからと、**社長への報告と合わせて、念のため担当部署の部長へも、アナリストのインサイト情報を一報。**

少し遅くはなりましたが、今日も家族と一緒に夕食を取れる時間に帰路につけそうです。



PROACTIVE

データサイエンティスト

THIS MORNING !

A商事の経営者Aさん

何とか先日の危機を回避したA商事の経営者Aさん。一見成長しているように見えるが、競合他社の状況はどうなのだろうか？自社は他社と比べてどのような立ち位置にいるのかを把握したく、経営企画部のXさんに自社と競合となる企業を選定し財務比較分析を依頼します。丁度7月に入り、競合他社も含めすべて決算情報の開示は終わっているの、明日には見れるだろう…



THE NIGHT …



A商事の経営企画部のXさん

社長から競合他社との財務比較分析の依頼がきました。競合として選定すべき企業をどこに設定しようか。あまりにも差がありすぎる企業を選定しても比較にならないし…。

各社のIRレポートもHPから入手しなければならないけど、全部PDFになっているので、分析に必要な情報を抜き出し比較表を作らないと…地味に面倒な作業なんだよな。明日までと言われたけれど、間に合うだろうか…

経営

高度な経営判断

従来は難しかった高度な意思決定を支援

- ◆ ヒト・モノ・カネの可視化
- ◆ 業績/需要の高精度での予測
- ◆ 業績改善余地の自動提案

PROACTIVE AI × Looker × Gemini



AIダッシュボード
(PROACTIVEアナリスト)

PROACTIVE AI × SCSK-AI技術力



AI分析プラットフォーム
(PROACTIVE データサイエンティスト)
技術戦略本部 共同開発

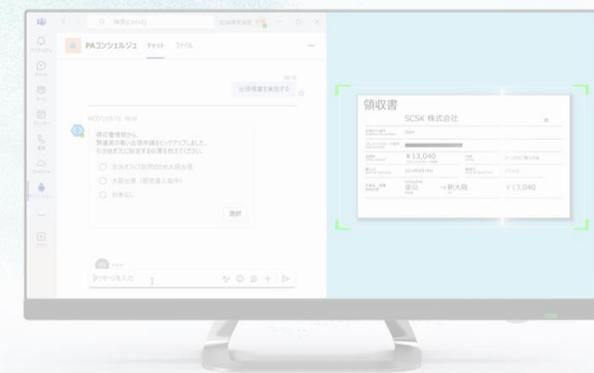
現場

効率化・自動化

現場のあらゆる業務を効率化

- ◆ 入力業務の自動化・効率化
- ◆ 情報収集の自動化・効率化
- ◆ ドキュメント作成の自動化・効率化

PROACTIVE AI ×



業務サポートAI
(PROACTIVEコンシェルジュ)

ゴールに対して自律的に判断しタスクを細分化・実行するAI

指示待ちAI

従来のchat型生成AI

依頼例

「昨年の売上のピーク時期を教えてください」



依頼

回答



対話



自律型AI

マルチAIエージェント

依頼例

「売上データから収益拡大の施策を提案してください」



依頼

回答



対話



タスク細分化



タスク実施



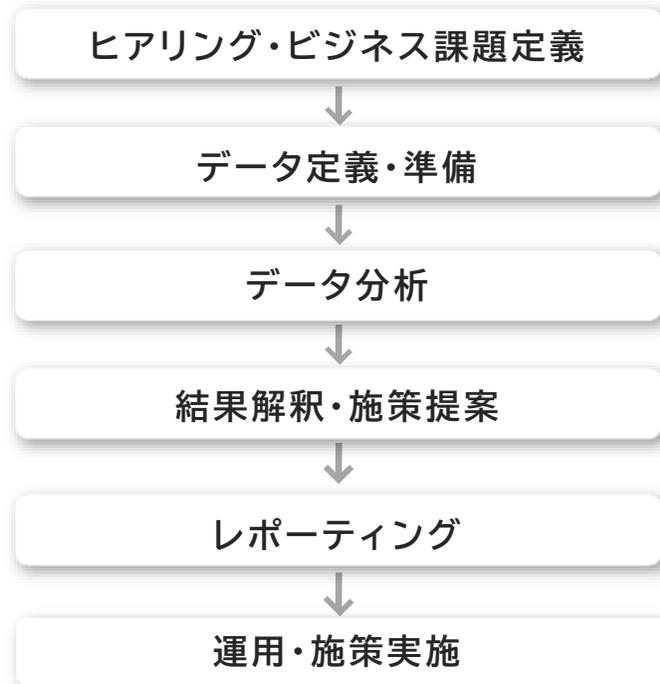
レビュー・修正



”PROACTIVE” × ”技術戦略本部” の共同開発機能

専門知識がなくても、ユーザーはAIとの対話のみでデータサイエンスタスクを実行することが可能

データサイエンスタスクのプロセス



これまで

一連のプロセスを専門の人材が時間をかけて実施

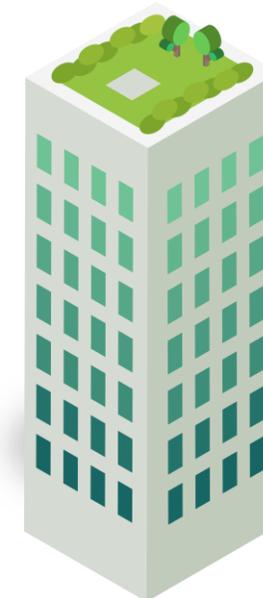
PROACTIVE

相談
質問

ユーザー

- ◆ 細分化されたプロセスを各AIが担う
- ◆ ユーザーはAIとの対話でタスクを実施

この**PROACTIVE DS**(データサイエンティスト)が
A商事に導入されていたら
あの日、A商事はどのように変化していたでしょうか？



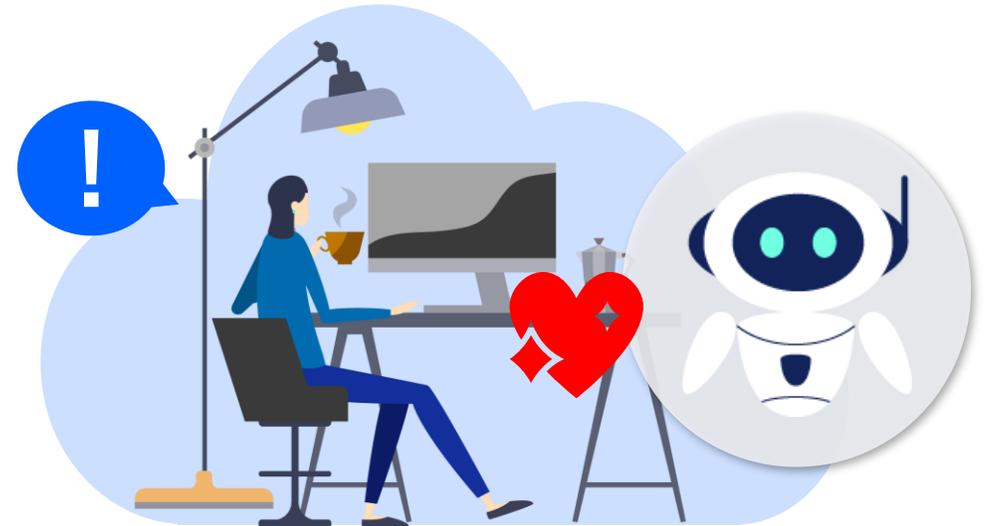
A商事の経営者のAさん

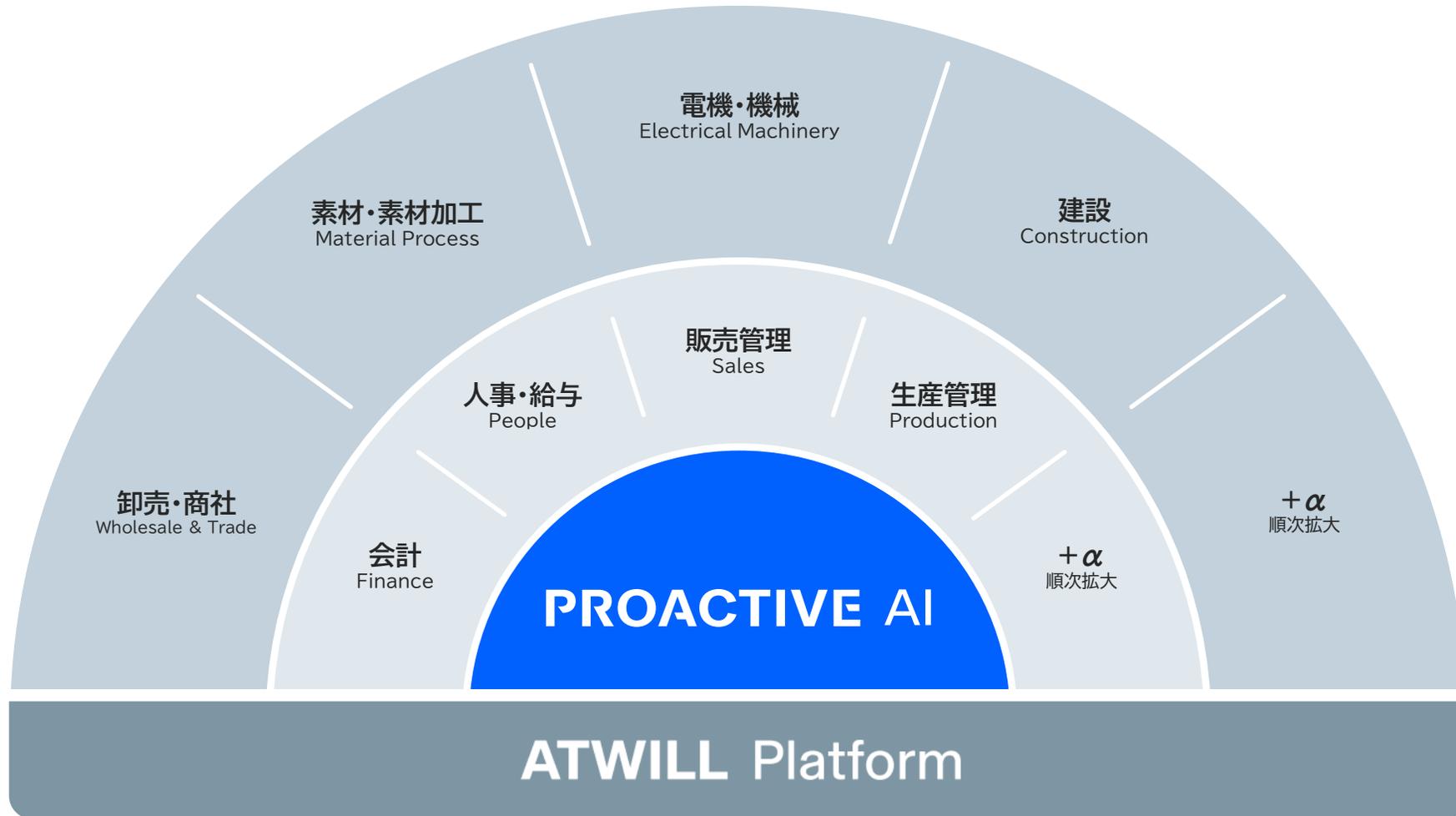
PROACTIVE データサイエンティストを起動します。競合の決算が出そろったようなので、財務分析を依頼します。

いちいち経営企画部に依頼し、結果を待つ必要はありません。

また分析結果から気になる箇所をさらにPROACTIVE データサイエンティストに**質問を投げかける**ことで、さらなる深堀分析をしてくれました。

データドリブン経営を推進する上で、新たにデータサイエンティストの採用を検討していましたが経営者の掌の中に、バーチャルのサイエンティストいるのもう、不要かもしれませんね。





無断複写・転載禁止

PROACTIVE

ビジネスを動かす一歩を、共に創る。

SCSK

Copyright © SCSK Corporation